



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2446 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) [Q検索](#)

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

令和2年(2020年)2月定例会(2月12日～3月25日)

令和2年度一般会計予算を可決

●定例会の概要

- ・2月定例会では、5名の議員が一般質問を行い、7会派から代表質問が行われました。
- ・当初、会期を3月19日までとしていましたが、新型コロナウイルス対応のため、会期を3月25日まで延長しました。
- ・市長提出議案として、現年度議案は、一般会計補正予算3件を含む24件を可決、人権擁護委員の候補者の推薦について同意しました。新年度議案は、条例議案4件、一般会計予算および6特別会計予算を可決しました。
- ・議員提出議案2件を可決、委員会提出議案として「鎌倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」「観光厚生常任委員会の視察に業者が同席をした事実関係解明に関する調査特別委員会の設置について」を可決したほか、陳情4件を採択しました。

●定例会の主な動き

本会議(2/12、13)	……………	一般質問、議案上程、採決	(2・6面)
本会議(2/19～21)	……………	代表質問、議案上程	(3～6面)
各常任委員会(2/25～28、3/3、3/10)	……………	議案、請願・陳情審査等	(2・3面)
本会議(3/12)	……………	委員長報告、議案上程、採決	(6面)
予算等審査特別委員会(3/13、16～19、23)	……………	新年度議案審査	(3面)
本会議(3/25)	……………	委員長報告、議案上程、採決	(6面)

鎌倉市議会における新型コロナウイルス感染防止対策



2月定例会中に計7回開催された議会災害対策会議の様子(写真は3月3日開催時のもの)。会議には、鎌倉市議会業務継続計画(議会BCP)により、議長、副議長、各派代表者および総務常任委員会委員長、副委員長が出席。

議会災害対策会議の設置

国内でも新型コロナウイルスの感染者が拡大を見せていた2月28日、市において新型コロナウイルス対策本部会議が設置されたことに伴い、議会においても同日、議長が議会災害対策会議を設置しました。議会災害対策会議では、市の対策本部会議に出席している議会事務局長から現状や対応等について報告を受けました。また、議員から出された感染拡大防止策や学校の再開、市内事業者への支援などの意見・要望などは、精査した上で市の対策本部会議へ提供しました。

本会議、委員会等

市の感染拡大防止対策を受け、2月28日の総務常任委員会以降の審査日程を変更し、市の業務縮小体制が解除された後の3月10日に再開しました。その後の本会議および委員会の開催に当たっては、手洗い、アルコール消毒の徹底を図るとともに、必要最小限の出席者にとどめる、マスクを着用したままの発言を認めるなど感染拡大防止に細心の注意を払った上で開催しました(下記参照)。2月定例会の会期については6日間延長し、3月25日までとしました。

委員会出席者(議員および職員)と傍聴者への対応

委員会出席者

2月25日開催の常任委員会正・副委員長会議において、「会議時間の短縮を心がけること」「職員の入室については最小限とすること」「質疑については端的に行うこと」「報告事項については必要なもののみ当日に聴取すること」など運営の確認がなされたほか、「新型コロナウイルス対策に係る対応方針」を次のとおり確認しました。

- ・入室する者は、当日の朝、検温するなど体調管理を徹底し、発熱の際は欠席すること。
- ・入室の際は、手のアルコール消毒を心掛けること。
- ・極力、マスクの着用を心掛けること。
- ・マスクを着用したままの発言を認めること。
- ・全員協議会室については、休憩時間に随時換気すること。

傍聴者

2月28日開催の議会災害対策会議において協議した結果、原則として傍聴はご遠慮いただくこととしました。市議会ホームページでの案内や傍聴席入口に貼り紙を掲示し、周知を図りました。(右上の写真)

今後の議会の傍聴等に関する情報は、市議会ホームページなどでご案内いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴にお越しくださる皆様の健康を守る観点から、当面の間、議会の傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。
(インターネット中継もご利用ください)

自宅で見よう議会中継

鎌倉市議会では、本会議および各常任委員会等について生中継を行っています。また、録画映像の配信も行っています。

パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末からも視聴が可能です。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

[鎌倉市議会](#) [中継](#) [Q検索](#)

議会報告会&意見聴取会 令和2年(2020年)5月の開催は中止します

市民の皆さまと議員がテーブルを囲んで行う、議会報告会&意見聴取会については、市議会議員の選挙が行われる年を除いて例年5月に開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年(2020年)5月の開催を中止とさせていただきます。なお、今後開催する場合は、議会だより、市議会ホームページなどでご案内いたします。

ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、2月定例会では5名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会で事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、5月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

防災対策

防災対策について、次の質問が行われました。

【ドローンの利用】

質問：災害時のドローンの利用について、本市における活用状況を聞きたい。

防災安全部長：災害情報の収集方法として、上空からの映像は有効である。昨年の台風15号、19号の際は、鎌倉ドローン協会の協力により、倒木被害等を上空から確認することができた。

【斜面地の点検】

質問：逗子市の通学路の斜面地の崩落事故を受け、市内の斜面地について、本市ではどのような点検をしたか。

都市整備部長：市職員が、斜面における擁壁の有無、擁壁の上部の状態を確認した。安全対策については、落石防護柵および防止ネットの有無などの目視点検を行った。

質問：第一中学校の通学路の斜面地の安全対策は緊急性を要すると思うが、本市の考え方を聞きたい。

防災安全部長：道路沿いの民有地は、土地所有者の責任で安全対策を実施すること

気候非常事態宣言

SDGs未来都市として、

地球温暖化による気候変動の対策に注力して持続可能な社会を実現するため、市が行った「気候非常事態宣言」について次の質問が行われました。

質問：本市は「気候非常事態宣言」をしたが、今後の考え方を聞きたい。

環境部長：第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画の策定に当たり、気候非常事態へ横断的な対応ができるよう、市としての体制を整え、施策や計画の実効性を確保している。令和2年度には、鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画の改定を予定しており、関係各課の温暖化緩和策・適応策の取り組みを明確に体系づけること

ることで、各課の施策等が機能できるようにしていく。

質問：気温の上昇に伴い、国内で熱中症による死亡者が多く発生しているため、対応が必要である。宣言には、緩和策と適応策を進めるとあるが、対応を聞きたい。

市長：ホームページや衛生時報等を活用し熱中症の予防方法を発信するほか、高齢者向け健康づくり教室などを通じて、小まめに水分補給をすることの大切さなどを伝えていく。外出時の熱中症予防としては、各支所等をクールシェアスポットとして開放し、ウォーターポットの設置を進める。

び自動車やテントへの避難者を避難所外避難者と位置づけている。物資については、最寄りの避難所等で提供することとし、情報提供等の必要な支援を行うこととしている。

【公園の防災機能】

質問：公園の防災機能について、どのようなものがあるか聞きたい。

都市整備部長：公園には、火災の遅延や防止、避難や救護活動の場などの防災機能がある。また、鎌倉中央公園や岩瀬下関防災公園には、防災備蓄倉庫やかまどベンチなどの防災施設を備えている。

【市長に問う】

質問：防災には、職員一人一人、理事者、トップの決意が重要になってくると思



う。これから市として行っていく施策は、防災、予防というところに注力してほしい。市長の決意を聞きたい。

市長：さまざまな災害の被害を最小限に抑えて市民生活を守るため、ハード・ソフト両面からの備えに注力し、突発的に発生する災害などに対し、常に迅速かつ適切に対応できる体制の構築に努めてきた。令和2年度からスタートする第4期基本計画は、レジリエンス（強靱）なまちづくりを重点的に取り組むとともに、気候変動に対する緩和策・適応策などにも取り組むこととした。計画に定めた施策を着実に推進していきたい。

請願・陳情の議決結果

2月定例会では1件の請願、9件の陳情が提出されました。うち陳情2件を全議員に配付し、請願1件、陳情7件を各常任委員会に付託し、審査を行いました。その結果、陳情4件を採択し（令和元年12月定例会で継続審査としていた1件を含む）、請願1件、陳情4件を継続審査としました。

結論が出た陳情の要旨と結果は次のとおりです。

【採択した陳情】

◇観光厚生常任委員会の視察に業者が同席した事実の調査を求める陳情

陳情の要旨

昨年10月に行われた観光厚生常任委員会の香川県への行政視察に、鎌倉市の業者が同席した理由について調査し、市民にその結果を公表することを求めるものです。

委員会および本会議の結果

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◇鎌倉市公共施設再編計画の見直しについての陳情

陳情の要旨

市は鎌倉市公共施設再編計画に基づき、公共施設の統廃合に着手しているが、市民への情報提供等が不十分であり、社会情勢の変化や自然災害の増大に対処するために、全般的な見直しを行い、新たな計画の検討、策定を求めるものです。

委員会および本会議の結果

委員会、本会議ともに多数の賛成により採択しました。

◇今泉クリーンセンターを候補地とする生ごみ資源化施設の整備を強行しないことを求めることについての陳情

陳情の要旨

市が示した生ごみ資源化施設整備の方針について、議会として十分に検証し、市が住民の声を無視して施設整備に踏み切ることのないよう尽力することを強く要望するものです。

委員会および本会議の結果

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◇グラウンド施設の早期建設と代替地確保についての陳情

陳情の要旨

平成19年に総合体育施設の整備を求めることについての陳情が採択されたことから施設建設に期待していたものの、深沢地域整備事業が遅れることによる懸念があるため、早期完成のための計らいと建設中の代替地の確保を、議会として、市に強く働き掛けるよう求めるものです。

委員会および本会議の結果

委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

一般質問項目一覧

① 松中 健治（無所属）

- SDGsの取り組み
危機管理。ドローン活用。
- 防災
台風被害からの教訓と対策。
国道134号、斜面地。地震、津波、高潮、第一中学校通学路。
- 清掃工場、災害ゴミ。
- 鎌倉の歴史。大河ドラマ等の対応。
- やぐら、名越釈迦堂、ハイキングコース、歴史的風土関係の整備。

② 長嶋 竜弘（無所属）

- 鎌倉市政に異論反論オブジェクションVOL.10～臨界点を越えた松尾市政が2020にもたらすものは？～

③ 千 一（無所属）

- 19人を殺害した植松被告と優生思想と効率主義について
- オリンピック・パラリンピックと鎌倉西口トイレ及び東口の段葛について
- 孤独死を防ぐには
- 横断歩道と歩行者用信号に対する警察と鎌倉市の対応について

④ くりはら えりこ（無所属）

- オリンピック・パラリンピックについて（SDGs目標16）
- 新型コロナウイルス等の感染症対策について（SDGs目標3）
- 受動喫煙防止、たばこ依存症の禁煙治療について（SDGs目標3）
- 鎌倉市内のインターネット環境について（SDGs目標9）

一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます。



5 避難所の設営・運営、自主防災組織、在宅避難者への支援について（SDGs目標11）

6 防災機能公園、街路樹、エディブルガーデンについて（SDGs目標1・11）

7 北鎌倉隧道について（SDGs目標11）

8 鎌倉市の気候非常事態宣言と気候危機対策の進捗状況について（SDGs目標13・17）

9 ゼロ・ウェイストの取り組みについて（SDGs目標12）

10 再生可能（グリーン）エネルギー政策について（SDGs目標7・11）

11 学校改修、公共建築物長寿命化と断熱性能について（SDGs目標12）

12 鎌倉市の財政見通しと事業計画見直しについて（SDGs目標11）

⑤ 竹田 ゆかり（無所属）

- 博物館基本構想について
- 子どもたちの学習権を守る「教職員の働き方改革」について
- 子どもたちの学習権を守る「教育環境条件整備」について
- 「オンデマンドモビリティサービス」の検討について
- 公用財産・公共財産の管理規則について

2月26日、3月30日(協議会)開催
審査した内容(議案1件、陳情2件、報告事項11件)

陳情第34号 今泉クリーンセンターを候補地とする生ごみ資源化施設の整備を強行しないことを求めることについての陳情

本陳情の要旨は、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画(素案)に、今泉クリーンセンターを候補地とする生ごみ資源化施設整備の方針が示されたが、当該施設についてはさまざまな懸念があり、地元住民を含む多くの鎌倉市民の理解を得ているとは言えないことから、市が住民の声を無視して施設整備に踏み切ることのないよう強く要望するものです。

市の説明によると、本市が計画している施設と同規模以上の好気性微生物発酵処理施設が安定的に稼働していること、施設整備に当たっては、まずは小規模施設の整備から実施し、資源化の確実な処理方法や効率的な運営、臭気対策等の十分な確認を行い、本市にとって最適な施設運営方法を見極めた上で、施設を増設していきたいとのこと。

委員会では、「今泉、今泉台、岩瀬の3町内会にはこれまで迷惑を掛けてきており、また、現在さまざまな説得を続けている中、生ごみ資源化施設が整備できない場合は、その分は自区外処理をせざるを得ないといった本市のごみ処理の考え方については、失望するとともに憤りを感じている」などの意見が出され、総員の賛成により採択されました。

2月28日、3月3日、10日開催
審査した内容(議案7件、陳情2件、報告事項10件)

報告事項 支所における収納業務の見直しについて

市は、市県民税、国民健康保険料といった収納業務(※)について、約1年間の周知期間を設けた後、令和3年(2021年)3月31日をもって支所窓口における取り扱いを終了することとします。収納業務については、銀行や郵便局などでの口座振替や窓口払い、コンビニエンスストアによる収納代行など、さまざまな代替手法が普及しており、業務の効率化や現金管理におけるリスクの低減が図れると判断したとのこと。

委員会では、「利用者が困ることがないよう丁寧な周知を求める」「コンビニなどが遠い地域はないことを確認した上での判断か」「支所が本来持つ、地域の方とのコミュニケーションという機能については今後どう保持していくのか」といった質疑を行い、市の考え方を確認した後、報告事項について了承されました。

※詳細は市ホームページ、支所で配布しているチラシから御確認いただけます。



市のホームページにアクセスできます

観光厚生常任委員会

常任委員会

総務常任委員会

建設常任委員会

このほかに、新年度予算関係議案の予備審査を行いました。

教育こどもみらい常任委員会

2月27日開催
審査した内容(議案2件、請願1件、報告事項12件)

報告事項 鎌倉駅西口駅前広場整備の現状について

鎌倉駅西口駅前広場については、市民、来訪者が共存できる快適な駅前環境を整えるため、令和元年度(2019年度)内の供用開始を目指して整備工事を進めてきたものの、令和元年(2019年)9月、10月に関東地方に上陸した台風15号、19号による影響で、工事期間延長の必要が生じたとのこと。

なお、延長後の工期は令和2年(2020年)4月下旬までを見込み、現在、工期延長の変更契約締結に向けて準備を進めており、ゴールデンウィーク前の供用開始を目指しているとのこと。

委員会では、報告事項について了承されました。



整備イメージ

2月25日、3月27日(協議会)開催
審査した内容(議案4件、陳情3件、報告事項9件)

報告事項 鎌倉市にふさわしい博物館基本構想の素案について

鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会を平成31年(2019年)3月から3回にわたり開催し、素案を作成したとのこと。

その基本的な考え方として、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進するため、鎌倉市全体を博物館として捉える「エコミュージアム(※)」を構築し、行政と市民の協力関係による運営を行うこととされています。

エコミュージアムにおいては、既存の博物館等を「中核施設(コア)」、地域の文化財や施設等を「衛星施設(サテライト)」、施設間を有機的に結ぶ散策ルートを「発見の小径(ディスカバリートレイル)」として設定しますが、素案では、中核施設となる鎌倉国宝館および鎌倉歴史文化交流館の2館の連携を強化し、機能の拡充を図ることが示されています。

今後は、今回示された素案を基本構想として確定させた後、基本計画、実施計画を策定し、令和4年度(2022年度)以降、順次、実施計画を実行していく予定とのこと。

委員会では、報告事項について了承されました。

【用語の解説】※エコミュージアム エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)とをつなぎ合わせた造語であり、一定の地域に点在する歴史・文化・自然・産業等の遺産を現地において保存・管理し、その全体をミュージアムと捉え、運営していく仕組み



予算特別委員会委員(議席順)

委員長	高野 洋一(日本共産党鎌倉市議会議員団)
副委員長	伊藤 倫邦(自由民主党鎌倉市議会議員団)
委員	志田 一宏(自由民主党鎌倉市議会議員団)
	武野 裕子(日本共産党鎌倉市議会議員団)
	前川 綾子(鎌倉みらい)
	河村 琢磨(鎌倉のヴィジョンを考える会)
	日向 慎吾(鎌倉夢プロジェクトの会)
	保坂 令子(神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	大石 和久(公明党鎌倉市議会議員団)
	山田 直人(鎌倉みらい)

2 予算特別委員会の設置
2月21日に開催された本会

局に対し質疑を行いました。

1 予算関係議案の提案
2月13日に開催された本会議において、市長から令和2年度の市政運営に対する所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、6特別会計予算など、令和2年度予算関係議案11件が提案されました。

(11件のうち、1件は同日開催の本会議において可決)

主な内容は次のとおりです。

(予算総額)
一般会計および6特別会計の合計/1150億8312万7千円(前年度比2.2%の増)

(各予算規模)
一般会計/642億870万円(前年度比4.8%の増)
特別会計/大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業および下水道事業(公営企業会計)の6特別会計合計で、508億7442万7千円(前年度比0.9%の減)

2 予算特別委員会での審査(担当原局・理事者への質疑)
予算特別委員会では、3月13日から19日にかけて、付託された予算関係議案について、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画に位置付けられた諸事業をはじめ、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策がどのように予算に反映されているかといった観点から担当原局に対し質疑を行いました。

3 予算特別委員会での審査(担当原局・理事者への質疑)
予算特別委員会では、3月13日から19日にかけて、付託された予算関係議案について、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画に位置付けられた諸事業をはじめ、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策がどのように予算に反映されているかといった観点から担当原局に対し質疑を行いました。

令和2年度一般会計予算等を審査
一般会計予算を可決

また、3月23日は、施策の一部について市長への質疑を行い、鎌倉市のごみ処理計画についてや公共施設再編事業についてなどの見解をいただきました。

4 予算特別委員会での採決

付託を受けた令和2年度一般会計予算など10議案の採決を行いました。

その結果、一般会計予算、大船駅東口市街地再開発事業など6特別会計予算および3件の条例議案についてそれぞれ原案のとおり可決しました。

5 審査結果の報告

3月25日の本会議において、予算特別委員長から審査結果等が報告され、次の意見が付されました。

①危機管理能力および災害対策の強化について

現在、新型コロナウイルス感染症は世界的なパンデミックの状況下にあり、そのような中、市民の生命・財産を守るためにも鎌倉市独自の危機管理能力を高めていく必要があるため、今回の危機事象をしっかりと捉えた上で、身に付けた危機管理能力を、今後、必要な計画の策定に生かしていくことを求める。

また、商工業者に対する支援については、市内事業者が、急激な業績悪化により閉店や廃業に追い込まれることがないよう、必要かつ迅速な支援を行うことを求める。

また、災害対策の強化については、災害時に正確な判断を行うためには、多種多様な情報をいち早く収集することが必要不可欠であることから、より詳細な市内の情報を収集できるツールを備え、災害対策本部機能をさらに強化すること、高台への避難路の確保、津波避難施設の整備など、

ハード面での対策についても地域住民との連携による可能性を追求することを求める。

②高齢者の外出支援について

高齢者の健康維持や趣味を見つけることにつながるためにも、外出の機会を増やすことは大事であるため、他市の事例も参考にしながら今後も積極的に高齢者の外出支援サービスを行っていくことを求める。

③ごみ処理施策について

今後のごみ処理行政については、市民の信頼をしっかりと得た上で進めていくこと、また、責任あるごみ処理の方向性を確立していくよう求める。

④文化財の保存活用について

文化財は、公開・活用してこそ、その価値が高まること、また、鎌倉歴史文化交流館の紹介や実施中のイベントの映像を発信するなどにより、その魅力アップが図れること。

また、鎌倉歴史文化交流館とともに市内に点在する文化財・施設等を「発見の小径」で結ぶエコミュージアムの実現においては、地域振興にとどまらず、その歴史的価値に鑑み、文化財の保護・保全につなげるよう求める。

6 本会議で採決

委員長報告の後、各会派の議員および2名の無所属議員から、討論として、原案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行った結果、一般会計予算および国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、後期高齢者医療事業の3特別会計予算は多数の賛成により原案を可決、大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、下水道事業会計予算および3件の条例議案は総員の賛成により原案を可決しました。

各派 代表質問

2月19日～21日の本会議において、令和2年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

①自由民主党
鎌倉市議会議員団
（志田一宏議員）



②鎌倉のヴィジョンを
考える会
（河村琢磨議員）



③日本共産党
鎌倉市議会議員団
（武野裕子議員）



④神奈川ネットワーク
運動・鎌倉
（安立奈穂議員）



新年度予算に対する 各会派の評価と見解

自民党鎌倉市議員団

課題を先送りせず、行動を。

令和2年度一般会計予算は

か諸議案に賛成いたしました。

深刻さを増す、少子高齢化

で持続可能な行政経営を行う

ためには、事業の選択と集中、

行財政改革を強力に推進する

ことが必要と考え、計画の実

行のため、必要な行動を取る

ことを求めました。

●経済発展と社会的課題の解

決を両立する新たな社会。

少子高齢化の課題先進市と

して、テクノロジーやデータの

活用による共生社会の実現の

ため、スマートシティ推進事業

を求め予算計上され、評価す

るが、担当強化を求めました。

●行財政改革

補助金の見直し、行政のデ

ジタル化、社会・地域のスマー

ト化、歳入確保策を、市民の皆

さまがご理解いただけるよう

全身全霊で取り組むよう求

め、令和2年度からより一層取

り組むとのことと評価します。

●森林環境譲与税の活用を。

激甚化する台風被害では、

民有緑地からの倒木で家屋の

損壊が発生しました。このこ

から、森林環境譲与税を活用

した民有緑地の管理を求め、

活用されることになりました。

●ごみ処理問題

第3次鎌倉市一般廃棄物処

理基本計画の事務を遂行して

も、市長の方針転換でごみ処

理施策が進まないで、市長

は政治的責任をどう取るのか

問い、先頭に立って責任を果

たしていく、とのことと注視

します。

●GIGAスクール

新しい時代の教育改革であ

り、誰一人取り残すことのな

い、個別最適化された学びの

実現を求め、国の補助金も含

め予算計上され、評価します。

●高齢者活動運営事業

運転免許証返納補助金につ

いては、要望が実現し、評価

するところであるが、今後、

さらなる用途拡大を求め、対

応を注視します。

●観光施策と文化振興

令和4年NHK大河ドラマ

で「鎌倉殿の13人」の製作が

決定。地域活性化を求め、大

河ドラマ・オーパツーリス

ム担当が新設され、評価。

●鎌倉都市計画事業大船駅東口

市街地再開発事業特別会計

大船再開発は鎌倉市立地適

正化計画の観点からも必要で

あることから事業の実施を求

め、今後、情勢を見極めなが

ら検討とのことと注視します。

●新型コロナウイルス感染症

対策

わが会派は、新型コロナウ

イルス感染症対策に最前線で

対応に当たっている皆さまを

全力で支援します。政府は、

大胆な経済財政政策を講じて

おります。鎌倉市としても、

融資対象や補助制度の拡充に

よる緊急経済対策を実施して

おりますが、今後も引き続き

市内中小企業者の経営安定を

図っていくよう求め、対応す

ヴィジョン

不易流行の行政経営と危機管理能力の強化を

平成から令和へと新時代の

幕が明け、初めての予算編成

となった令和2年度は、第3

次鎌倉市総合計画第4期基本

計画の開始年度でもありまし

た。鎌倉のヴィジョンを考え

る会では、この「第4期基本

計画」の計画推進に向けた考

え方と、鎌倉市が大きな旗印

として掲げる「共生社会」「共

創」「SDGs」の視点に注視

して代表質問し、さらに予算

特別委員会での詳細の審査と検

証を行った結果、一般会計予

算ほか諸議案に賛成しました。

●扶助費が最大費目に

地方財政の経費構造は、さ

まざまな角度から把握をする

ことができますが、中でも歳

出の経済的な性質を横断的に

分類した性質別内訳に着目し

てみると、これまで最大費目

となっていた人件費（21・4

%）を抜いて、扶助費（22・

6%）が予算構成比率で初め

て上回ることとなりました。

これは、社会保障制度の規

定に基づく支出が、義務的経

費として非常に大きなウエイ

トを占めるようになったこと

を表しています。財源面で支

えられるうちは良いのです

が、近年の経常収支比率が示

すように、鎌倉市の財政は硬

直化が進んでいます。

●5年という歳月を経て

私たちの会派は、こうした

社会の到来を予測し、数々の

具体的な政策提言を重ねてま

いりました。特に平成27年度

日本共産党

新駅よりも、希望の持てるくらしを優先に

「誰一人取り残さない」の

スローガンのもと、新型コロナ

ウイルス感染問題で市民生

活への影響をできる限り

キャッチし、市民に寄り添う

市政運営を求めました。

●第4期基本計画「トッブク

ラスの財政力から、村岡新

駅建設で一気に貯蓄が枯渇

市の財政力は、健全性を図

る「地方財政健全化法」の基

準を大幅にクリアしており、

県下でもトップクラス。しか

し基本計画は、藤沢市に造る

「村岡新駅」を含む大型事業

計画が入るため、約49・5億

円の不足額が生じ、3年後に

は56億円の市の貯金（財政調

整基金）も無くなり、当初予

算編成の見込みがないと言

います。そのため市民生活のた

めの事業の「仕分け」や受益

者負担の見直しで財源の確保

をするというものになってお

り、到底容認できません。自

治体の本務である住民の福祉

の増進を図ることに力点を置

くべきという観点から、一般

会計予算に反対しました。

●玉縄青少年会館廃館問題と

公共施設再編計画

安易な廃止議案が議会で否

決された重みを認識し、施設

の応急的な改修を含めた検討

と、住民が参加する「検討会

議」を地域ごとに設置し、公

共施設再編計画の在り方を検

討することを求めました。

●市役所移転は急がず合意を

今の本庁舎は耐震補強がさ

れています。市民合意のため

に移転を急がず、長期的な視

点で財政負担の平準化を図る

ことを提案しました。

●子どもの国保料引き下げを

子どもが増えると国保料負

担が重くなる「均等割」分に

相当する軽減策を求めました。

●交通補助制度の復活・充実

長い間要求してきた高齢者

の外出支援が運転免許証返納

者に対し予算化されました。

さらに免許証のない高齢者に

も使える交通補助制度を求め

ました。

●ごみ問題—まず信頼回復を

逗子市の焼却施設への受け

入れ終了までの14年間、施設

建設でまず市民の納得と合意

を図り信頼関係を築くこと、

生ごみの資源化は、バイオガ

ス化も含め最新技術の生ごみ

処理の探求を求めました。

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

（代表質問順）

神奈川ネット鎌倉

鎌倉みらい

公明党

鎌倉夢会

市民に信頼される市政運営を

神奈川ネットは、市民の暮らしに直結するごみ処理施策行政の先行きが見えず、「まちの未来のための守りと攻め」という予算編成方針における特に「攻め」の部分の将来投資の熟度を問題視して、一般会計予算に反対しました。各派代表質問では、市民の暮らしを守る福祉・防災・子育て支援と共に、環境の分野の課題を多岐にわたり取り上げました。

●広域化が解決にならないごみ処理施策

2市1町の「ごみ処理広域化実施計画(素案)」では、生ごみの資源化で燃やすごみの量を減らしても、逗子市の焼却施設場での受け入れ可能な量を上回る場合は、自区外の民間事業者処理委託をすることになっています。また、逗子市の焼却施設の稼働停止後は、施設の更新を行わず、2市1町の燃やすごみは全て圏域外の処理に委ねることになります。あまりにも不確かな広域連携と言わざるを得ません。

燃やすごみの量を減らす上で決め手とされた生ごみ資源化施設については、候補地の周辺住民から強力な反対の声が上がっています。施設の技術的な課題だけでなく、ごみ処理施設立地の負担を長年強いてきた経緯や道路事情からしても、当該地での施設整備を強行するべきではありません。える影響にも注意すべきです。

新基本計画の完遂を期した予算がスタート

第3次鎌倉市総合計画の最後の6年間に当たる第4期基本計画、そのスタートに当たる令和2年度一般会計予算は、か諸議案に賛成いたしました。持続可能な鎌倉の未来に、議決責任と説明責任を果たし、予算執行を監視・評価していくことを約束いたします。

以下に、予算に対し、会派の評価と見解を述べます。

●納得性の高い再編計画に

公共施設再編計画の見直しは、「持続可能な都市経営」の視点で、公共施設マネジメントの方針や施設更新に要する財源確保、防災対策等が考慮されて行われます。また、利用者需要の変化等の社会情勢を捉え、丁寧な説明と組織横断的なフォローの在り方を検討し、再編計画の理念や目的の周知が図られます。そして、現計画を基本に再編組織の体制強化が図られることが確認できました。これを評価し、市民の納得性の高い再編計画の推進を要望しました。

●ICT人材の確保強化

鎌倉の目指すスマートシティは、AIやIoT、ビッグデータなどに優しいテクノロジーの活用を通して社会課題を解決していくこととするものです。また、実務面ではRPAの導入やAIを活用したツール、業務効率向上アプリの導入を計画しています。こうした業務環境の変化に

次世代に責任を持ち、共感される政治を!!

公明党鎌倉市議会議員団は、令和2年度一般会計予算など諸議案に賛成し、第4期基本計画の目標年次である令和7年度を見据えた市政運営により、「次世代に負担を先送りしない持続可能なまち」を目指すことを求めました。

●健康情報データの活用

健康情報データは、医療・介護・健診など多岐にわたるかつ大量に扱われています。個人情報に配慮しながら健康寿命の延伸につなげるため、市民の健康に関わる貴重なデータを連携・分析し、証拠に基づく政策立案(EBPM)に活用できる体制を早期に築くことを求めました。

●深沢地域整備の推進

令和元年に着手した(仮称)村岡新駅概略設計は、令和2年度も引き続き予算化され、今年末から来年初めには新駅設置の見極めが行われます。深沢地域整備の形を決定付ける大きな要素であり、その結果は冷静に見守るべきです。また、深沢地区まちづくりガイドライン基本方針は、土地利用計画の見直しを踏まえて時点修正し策定されます。深沢地域整備の「堅持すべき哲学」として、その策定に万全を期すことを強く求めました。

●新基本計画の完遂を期す

将来の鎌倉の姿を共有し実現を目指す新基本計画の実効性を高めるため、財政収支の見通しが厳しい今だからこそ、EBPMによる政策分野を増やすべきと求めました。

●行財政改革

令和2年度の財政シミュレーションで27億4千万円の不足を見込んでおり、令和7年度までの計画期間に49億円以上の収支不足が見込まれていることから、各年度の収支差額の不足分を圧縮するよう計画的に行財政改革に取り組みを必要と指摘しました。

●ロードプライシング

平成25年度から慢性的な交通渋滞解消のために検討してきたロードプライシングは、一般道に導入するには、克服すべき課題が多く、技術面と基本的な仕組みや税の公平性、徴収方法などとともに、現段階で市民や市内外の団体・企業などへの説明と理解が不十分であることを指摘しました。

●公共施設再編計画

公共施設再編計画は、計画を進める上で市民周知と理解が不足していること、利用団体の活動をどのように補償していくのかという視点が抜けており、再編計画を進めるに当たり丁寧なプロセスの必要性を指摘しました。

●災害発生時の情報提供

台風や震災・水害など想定

持続可能なまち鎌倉の実現に向けて

松尾市長が3期目の折り返しを過ぎた今、『共生社会』共創『SDGs』の大きな旗印に向けて、市政運営を任せられた原点に立ち戻り、公約した政策の実現に向けてどのような現状か、課題は何か、そして今後の取り組みに着目して、代表質問や予算特別委員会で検証を行いました。

●放課後からまくらっ子の整備

ライフスタイルの変化に応じて、放課後生活が多様化する中で、全ての児童が放課後の時間を安全・安心に過ごすことができる「放課後からまくらっ子」を実施していただいております。令和2年度には、全ての小学校区で整備が完了し、子どもの家の待機が解消されるとのことで大いに評価いたします。

●災害に強いまちに向けて

公開型GIS防災マップの運用開始や簡易型シャワーの備蓄など、災害に強いまちに向けて注力されたことを評価いたします。災害時に正しい情報を素早くお知らせし、市民からも情報を得ることや様々なツールを活用して、しっかりと伝わる取り組みを構築することを要望いたします。

●運転免許証返納者への支援

高齢者の安全確保と外出支援をするため、運転免許証返納者への補助金の予算化を大いに評価いたします。新たな事業のため、事業の内容や周知、効果など、より良い事業

となることを期待いたします。

●新たなテクノロジーの活用

AIやビッグデータなど最先端技術を拡張していき、作業を自動化するなど、未来を見据え転換していくときです。テクノロジーを起点にさまざまなサービスが生まれてくる中において、スマートシティ推進事業の取り組みは大いに評価し期待いたします。

●職員提案制度の充実

職員のアイデアを引き出し、新たな視点での市民サービスの向上や業務改善につながる提案は大切です。事業費を捻出する取り組みや、特に優秀な提案には表彰等を充実させることを求めます。

●ガバメントクラウドファンディングの活用

これはふるさと納税を活用したクラウドファンディングで、より具体的な寄附金の使途を指定し寄附を募る施策です。課題解決に向けさまざまな事業の推進や収入確保の取り組みとして、積極的に活用していくことを求めます。

●放置自転車への取り組み強化

放置自転車は、歩行者や車の安全な通行を妨げ、車椅子や目の不自由な方にとって障害物となり、災害時には支障を来し、街の美観も損ねます。警察や鉄道事業者、地元の方々などと連携して、防止対策や利用環境を整える具体的な取り組みを求めます。

議決された主な議案等

※2月定例会では市長提出議案36件、議員提出議案2件、委員会提出議案2件、陳情4件の採決を行いました。
下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成　－：反対

会 派 名				議 員 名				議 案 等			議決結果	議 公 倉 員 市 明 議 団 会 党			議 鎌 日 倉 本 員 市 共 議 産 団 会 党			鎌 倉 み ら い			議 鎌 自 倉 由 員 市 民 議 主 団 会 党			考 ヲ 鎌 イ え ジ ョ ン 倉 会 の			運 ネ 神 ツ ト フ ナ 鎌 倉 川			ブ 鎌 プロ ジ ェ ク ト の 会 夢			無 所 属		
※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問や、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。				※◎は会派の代表者 ※久坂くにえ議員は議長のため、採決には参加していません。					◎大石和久	◎西岡幸子	◎納所輝次	◎吉岡和江	◎武野裕子	◎高野洋一	◎山田直人	◎池田実	◎前川綾子	◎森功一	◎志田一宏	◎伊藤倫邦	◎中村聡一郎	◎久坂くにえ	◎河村琢磨	◎保坂令子	◎安立奈穂	◎高橋浩司	◎日向慎吾	◎千一	◎くりはらえりこ	◎長嶋竜弘	◎竹田ゆかり	◎松中健治			
主 な 議 案 等				議決結果																															
新年度予算	第98号	令和2年度鎌倉市一般会計予算		可決	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
条例	第83号	子どもがのびのびと自分らしく育つまち鎌倉条例の制定について		可決	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
補正予算	第91号	令和元年度鎌倉市一般会計補正予算（第13号） （御成小学校旧講堂改修事業の継続費の変更）		可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
その他	第80号	指定管理者の指定について （鎌倉市たまなわ子どもの家「うさぎ」および放課後子どもひろばたまなわ）		可決	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	第112号	人権擁護委員の候補者の推薦について		同意	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
議会議案	第6号	台湾の世界保健機関及び国際民間航空機関の正式加盟を支持し、必要な支援を求める意見書の提出について		可決	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	第7号	子どもに係る国民健康保険均等割保険料の負担軽減策を求める意見書の提出について		可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	第8号	鎌倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	第9号	観光厚生常任委員会の視察に業者が同席をした事実関係解明に関する調査特別委員会の設置について		可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
陳情	第33号	鎌倉市公共施設再編計画の見直しについての陳情		採択	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					